

被災地 NGO 協働センター2014 年度事業報告

【事業概要】

1. 寺子屋事業
2. まけないぞう事業
3. 災害救援事業
4. 提言(アドボカシー)・ネットワーク事業
5. 広報活動
6. その他

【事業内容】

1. 寺子屋事業

2014 年度は「阪神・淡路大震災から 20 年 KOBE 市民と NGO フォーラム」(以下、フォーラム)と連動した寺子屋を開催する予定であったが、水害の頻発等により十分な計画を立てることができず開催はできなかった。フォーラムの準備会において、寺子屋同様の内容を勉強する機会はあった。

2. まけないぞう事業

岩手県中心に「まけないぞう」事業を展開。現在の作り手の人数は 55 人となった。

4 年の節目を迎えた被災地では、先の見えない不安と孤独に覆われている。仮設から復興住宅、仮設の統廃合などによるコミュニティの崩壊している。そのコミュニティの再構築を図るためのボランティア、NPO/NGO などの団体も補助金などの打ち切りにより、激減したり、縮小を余儀なくされている。復興住宅では、すでに孤独死や自殺が発生したり、環境の変化に伴い、体調悪化を招いている人も少なくない。発災後から協力団体として活動している遠野の「ふきのとうの会」の女性チームは手芸を通して、生きがいやコミュニティ支援のために沿岸被災地に継続的に通っている。同時にタオルや材料の仕分けも手伝ってくれている。また、釜石市にある不動寺では、タオルを全国から募集し、タオルの仕分けを行い、各寺院や宗教を超えたつながりなどを生かし約 2,000 頭の販促などを行ってくれた。

まけないぞうを通して、心のケアにつながっている。支援者からのメッセージを以下に紹介する。

みなさま、お元気でお過ごしでしょうか？このタオルは、福山市立湯田小学校 6 年生(現在中学校 1 年生)からいただいたものです。毎年、湯田小学校の卒業生に「まけないぞう」さんを送らせて頂き、ネーミングがよいとか、かわいらしいとか言って好評です。「まけないぞう」をもらうまで、震災に遭った人たちがいまだに続けて作ってこれがいきがいになっていると知らなかったという人がほとんどです。少しずつでも皆さんに知ってもらったらいいと思います。このタオルを使ってかわいらしいぞうさんを作ってください、元気にお過ごしください。少しずつ広められたらいいですね。いつもありがとうございます。(福山市)

一方、作り手である被災者の方は、「あつという間に 4 年になりました。まけないぞうとともに 4 歳も年をとりました。これからもぞうさん

と一緒に過ごしたいと思います。」「月日の流れの早いこと、あの日あの時より 4 年目となり、でも私の心の中には、いつも海、波に流れたことは、昨日のように思い出し、恐ろしいことです。ただ、ぞうさんの顔づくりがいちばん大変、同じ形にできないこと、夢中で作ります。私のぞうさんどこへ行くのかと元気でいてね。会えることを楽しみにしています。」「4 年目を前に隣町に引っ越しました。それでも仮設の集会所に集まってぞうさん作るのが楽しみです。自分達が助けられたように、誰かの心を癒してくれる可愛いぞうさんをもう少し続けたいです。」と話してくれている。まさに「まけないぞう」が被災者にとって、心のケアの一環となっていることが伺える。

◇実績:10,103 頭出荷(うち子ぞう・親子ぞう・リングぞう、カップルぞうは 3,012 頭)

◇作り方講習(岩手県は省く)

7/14 北米研修(3.2)を参照)

◇回収、作り方講習会(岩手県遠野市、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市など)

6/25~7/9、6/9~6/23、7/22~7/30、9/5~9/22、11/12~12/1、2/25~3/19

◇まけないぞう報告会等

4/12 神戸大学とのまけないぞう会議(神戸)

7/3 大阪府仏教青年会(大阪)

9/8 神戸大学とまけないぞう講習会(岩手)

2/3 コープこうべと東北の復興支援グッズ交流会(神戸)

2/13 全日本仏教婦人連盟(東京)

2/24 パルスシステム東京目黒連絡会(東京)

2/13 全日本仏教婦人連盟(東京)

◇イベント等での販売

5/3~4 高槻ジャズストリート 2014

5/4~5 アースデイ KOBE2014

6/1 灘チャレンジ(神戸)

7/24~7/29 第 3 回川徳 絆フェア

10/11~12 美味しい!たかつき。食の文化祭 たかつきジャズとグルメフェア 2014

3. 災害救援事業

1) 国内災害に関する救援・復興・提言活動

(A) 災害発生時の対応

2014 年度は災害が多発し、多くの災害ボランティアセンターが開設された。当センターでは、スタッフの頼政を震災がつなぐ全国ネットワークのメンバーとして、他団体と連携しながら被災地へ派遣した。また、その他のメンバーも災害ボランティアとして、現地での活動を行った。

広島土砂災害では、真言宗の方々に多大なるご協力をいただき、お寺を拠点として活動を展開した。

◇徳島県海陽町水害派遣

8/5～8(頼政)

◇徳島県那賀町水害派遣

8/18(頼政)

◇兵庫県丹波市水害派遣

8/24～28(頼政)

10/12(村井)

10/18、10/26、11/8、11/24(炭焼き)

◇広島市土砂災害派遣

8/26～9/1、10/1～10/8、10/18～11/2(増島)

8/30～9/10、14～19、22～27、30～10/8、22～26、29～31、11/5～7、12～14、17～19、22～24、26～28、12/5～13、18～19、2/16～19、3/25～27(頼政)

(B)東日本大震災支援の継続

まけないぞう事業は引き続き、神戸からのサポート体制を継続した。また、東京大学被災地支援ネットワークとの連携は引き続き継続し、足湯ボランティアのつぶやきから「こころの健康ガイドブック」の作成を震災がつなぐ全国ネットワークの一員として共同で行ってきた。

※まけないぞうの記録はまけないぞう事業の項、足湯ボランティアのつぶやきガイドブックについては提言・ネットワーク事業の項を参照

(C)復興支援活動

◇まけないぞう事業

2.を参照

◇KOBE 足湯隊のサポート

当センターが事務局を努める「KOBE 足湯隊」は、主に能登半島(2007年地震発生)・兵庫県佐用町(2009年水害発生)など地震や水害の被災地に出かけてきた。能登半島地震の被災地では、毎年継続的に熊甲祭りに参加。また、今年度は仮設住宅に住んでいた方々の同窓会を企画・開催した。

同足湯ボランティアは、2010度から神戸学院大学を初めとする「ポーアイ4大学連携事業」として、佐用町へ15人程度の大学生(神戸大学、神戸女子短期大学、神戸学院大学)が年に2回入った。

東日本大震災では、神戸大学東北ボランティアバスのメンバーが被災地での足湯ボランティアを継続して行っている

・ミーティング:4/13、4/22、6/18、7/31、8/27、10/21、11/24、12/15、1/20

・その他

4/13 足湯ボランティア講習会

6/27 神戸学院大学足湯ボランティア講習会

6/29 神戸学院大学足湯(佐用町)

7/3 神戸学院大学足湯ボランティア振り返り

9/6 足湯講習会(たつの市)

9/18～21 お熊甲祭り(能登)

11/1～3 能登仮設同窓会

1/25 イザ!美カエル大キャラバン

(D)南海トラフ巨大地震に対して

◇女性が担う地域防災塾との協力

2013年度に引き続き、女性が担う地域防災塾(たつの市)の活動へ参加。同塾生の足湯ボランティア講習会やたつの市内でのまちあるきや災害時図上訓練、クロスロードゲームの講師を務めた。

6/6 室津まちあるき

8/13 提言づくり

9/6 足湯講習会

10/4 地区防災計画についての講演(京大矢守先生)

1/19 クロスロード打ち合わせ

2/1 たつの市社会福祉協議会主催:防災クロスロード

2/22 図上訓練予行演習

3/14 たつの市社会福祉協議会主催:災害時図上訓練

◇お寺防災の継続

アユス関西が解散となり、積極的な動きは作ることができなかった。

◇高知県黒潮町などとのつながりの継続

高知県黒潮町には訪問することができなかったが、たつの市での企画などで黒潮町の取り組みを紹介。また、8月の水害緊急支援で徳島県海陽町など徳島県関係者とのつながりをつくることができた。

※(A)災害発生時の対応参照

2) 海外災害に対する緊急救援活動とその後の復興へつなげる支援活動

当センターはCODE 海外災害援助市民センターの事務局をサポートしながら、震災の経験を伝え、痛みの共感をし、お互いに学び合い、海外の災害救援を通して、支えあいの輪を広げてきた。2014年度も東日本大震災への支援活動などで多大なるご協力をいただいた。また、CODE 海外災害援助市民センターが協力し、NPO 法人ワールドユースジャパンが主催した『「復興、エネルギー、持続可能な生き方」をテーマにした1ヶ月間の教育プログラム』の神戸パートにおいて、阪神・淡路大震災についての講義およびまちあるき、東日本大震災についての講義を行った。

7/14 まけないぞう講習会

7/17 阪神・淡路大震災について講義及びまちあるき

7/18 東日本大震災について講義

4. 提言・ネットワーク事業

(A)「阪神・淡路大震災から20年 KOBE 市民とNGO フォーラム2015」の開催

関係団体(実行委員:神戸大学学生ボランティア支援室、被

災地 NGO 協働センター、特定非営利活動法人阪神高齢者・障害者支援ネットワーク、一般社団法人 ひょうご部落解放・人権研究所、部落解放同盟兵庫県連合会、公益財団法人神戸YWCA、(特)神戸定住外国人支援センター(KFC)、(特)CIL 神戸 Be すけっと、(特)拓人こうべ、公益財団法人神戸学生青年センター共催：こうべまちづくり会館)と実行委員会を結成し、準備を進め 2015 年 1 月 24 日～31 日に開催した。若い世代にどのように阪神・淡路大震災の経験や教訓、想いを伝えるのか？ということが大きなテーマとなった。24 日には 3 部構成のフォーラムを開き、若い世代が議論し、さらにその内容を大人世代がどう受け止めるかの議論、最後には同じフロアで対等な意見交換をする場を作った。その後の 1 週間フォーラムで出た意見をまとめ、宣言文とアクションプランを作成するに至り、31 日には発表会を行った。※宣言文とアクションプランはじゃりみち 104 号を参照

◇準備会ミーティング(5/9、6/26、7/23、9/11、9/29、10/9、11/9、12/12、12/14、1/7)

◇その他

5/22 松本誠さんとの打ち合わせ
8/1 河村宗次郎さん(兵庫県被災者連絡会)インタビュー
8/7 長田・灯籠流しでのまちかどインタビュー
8/11、12 元町でのまちかどインタビュー
8/18 福永年久さん(拓人こうべ)インタビュー
8/19 正井礼子さん(ウイメンズネット・こうべ)インタビュー
8/23・24 フォーラム合宿・松本誠さん講演会「阪神・淡路大震災 20 年を振り返って」
1/24 フォーラム
1/25～30 宣言文作り
1/31 宣言文発表会

(B) 足湯ボランティアからの提言

東京大学被災地支援ネットワークと連携し、震災がつなぐ全国ネットワークの一員として足湯のつぶやき分析から生まれた「こころの健康ガイドブック」作成(助成:日本財団)に取り組んだ。当初予定は、3 月末発行であったが、夏の水害頻発等の理由で 5 月末完成に延長された。こちらのガイドブックの内容には足湯ボランティアからの提言が盛り込まれている。

また、同ネットワークと連携し取り組んでいた足湯ボランティアに関する書籍発行も当初予定から延期され 6 月発行の予定。

4/22 打ち合わせ(東京)
5/26～27 現地ヒアリング(東北)
7/25～26 ガイドブック作成のための作業(東京)
11/20 打ち合わせ(東京)
1/15 打ち合わせ(東京)
2/15 専門家(山本あい子さん:看護)ヒアリング(兵庫県立大)
3/12 打ち合わせ(東京)
3/16 専門家(酒井明子さん:災害看護)ヒアリング(福井大学)
3/23 専門家(金田諦應さん:宗教者)ヒアリング(栗駒高原)

(C) まけないぞうからの提言

足湯ボランティアと同じく東京大学被災地支援ネットワークと連携し、同ネットワーク開催の「復興グッズ被災地支援グッズ主宰者連携会議」に定期的に参加。同ネットワークが掲げる「災害時ボランティア経済圏」の論の確立に関わってきた。

(D) その他

2014 年度で第 10 回目となる東海地震に備えた「静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練」でのネットワークには引き続き関わっている。県外メンバーとしてプログラム作成のためのワーキンググループ(WG)にもスタッフの頼政が参加した。

◇WG ミーティング(7/23、11/4、12/17、2/13、3/6)

◇図上訓練(3/7～8)

◇ネットワーク事業

4/4～4/6 沖縄訪問団(辺野古新基地建設反対運動、高江ヘリパッド建設反対運動)(沖縄/増島)
4/8 震つな若手幹事会(東京/頼政)
4/19 神戸でんでんフェスティバルに参加(細川)
4/24 しみん基金 KOBE 四役会議(村井)
4/26 神戸 YWCA 平和集会(頼政)
4/27 灘チャレンジ地元委員会(頼政)
4/28 東日本大震災について学生からのヒアリング(頼政)
5/1 JPF からのヒアリング(村井・頼政)
5/3 「遺言 原発さえなければ」鑑賞(村井)
5/3 憲法 67 年 5・3 兵庫憲法集会(増島)
5/14 しみん基金 KOBE 理事会(村井)
5/23 兵庫県功労者表彰式(村井)
5/24～25 震つな総会・移動寺子屋(西伊豆/頼政)
5/26 しみん基金 KOBE 総会(村井)
6/4 災害ボランティアネットワーク委員会(静岡/村井)
6/4 ふじのくに国際災害ボランティア支援ネットワーク委員会(静岡/村井)
6/7 被災地 NGO 協働センター総会
6/12、23 神戸大学「ふくしま神戸ウィーク」に参加(頼政)
6/30 「友よ! 大重潤一郎魂の旅」大阪上映会鑑賞(村井)
7/5 脱原発「津田俊秀先生講演会」聴講(村井)
7/6 都賀川水難事故学習会に参加(頼政)
7/6 井戸川克隆講演会(池田/村井)
7/11 神戸市「震災 20 年を語ろう」ワークショップに参加(頼政)
7/29 しみん基金 KOBE 理事・審査会合同会議(村井)
8/5 KOBE ピース i ネット(増島)
8/7 災害ボランティアネットワーク委員会(静岡/村井)
9/10 全日本仏教婦人連盟理事会(天王寺/村井)
9/13 「神戸市政を市民の目線から考える」連続シンポジウム「大震災と市民力」に参加(村井)
9/19 神戸市政フォーラム「三宮再開発を考える」に参加(村井)
9/28 震つな「支援のすき間にいる被災者に向けたアプローチを考えるワークショップ」に参加(東京/頼政)
10/1 住友ゴム・NPO との CSR 情報交換会(村井)
10/6 兵庫県社会福祉協議会「ボランティア 20 年を振り返る」に参加(増島)

10/8 災害ボランティアネットワーク委員会(静岡/村井)
10/8 ふじのくに国際災害ボランティア支援ネットワーク委員会(静岡/村井)
10/21 全日本仏教婦人連盟年次大会(村井)
10/26~27 震つな定例会(新潟/頼政)
11/6 フォーラム「アツイ協働明日をつなぐ〜阪神・淡路大震災から20年〜」に参加(村井)
11/17 しみん基金 KOBE 四役会議
11/11 内閣府防災ボランティア検討会(頼政)
12/7 映画『友よ!大重潤一郎魂の旅』上映実行委員会(村井)
12/10 しみん基金 KOBE・H25 年度助成事業成果報告会(村井)
12/13 「神戸市政を市民の目線から考える」連続シンポジウムに参加(村井)
12/21 黒田裕子さんを偲ぶ会
12/26 ワンワールドフェスティバルに参加(頼政)
1/10 関西学院大学災害復興制度研究所・全国被災地交流会に参加(村井)
1/10 草地賢一昇天15年・偲ぶ会に参加(細川・増島)
1/14、15 「友よ!大重潤一郎魂の旅」上映会
1/15 災害ボランティア若手サミット打ち合わせ(横浜/頼政)
1/17 <阪神・淡路大震災20年>
1/21 震つなスカイプミーティング(頼政)
2/19 新宗連・第2回新生復興祈念集会「地震と原子力災害」聴講(村井)
2/25 内閣府防災ボランティア検討会(頼政)
3/3 日本科学協会・中国人学生の研修受け入れ
3/16~18 国連世界防災会議(仙台)に参加「環境・原発災害と防災に関するシンポジウム」「震災と宗教者の役割」「よりよい復興に向けて」「復興と防災を支える市民のちから」(村井)
3/29 灘チャレンジ地元委員会(頼政)
3/30 阪神・淡路大震災20年感謝状授与(兵庫県)

◇講義・講演活動

4/24 神戸学院大学にて講義(頼政)
4/27 第4回中島淳のアジト会議講演「ボランティア論」(村井)
5/29 防災士研修(大阪/村井)
6/1 防災士研修(大阪/村井)
6/9 近畿大学人権講演会「いのちと人権〜阪神・淡路大震災と東日本大震災」(大阪/村井)
6/20 六甲アイランド高校にて講義「ボランティアは誰でもできる」(村井・頼政)
6/23 神戸学院大学・清原ゼミ座学と学習(村井)
6/27 全国リサイクル石けん協会大会にて講演「神戸の経験から東日本大震災を考える」(淡路/村井)
7/2 神戸新聞ドナー講義・神戸大学地域講座(村井)
7/16 鈴蘭台食品公害セミナー総会にて講演「東日本大震災と原発事故から三年半」(村井)
7/18 コープこうべ総代会・協同学院にて講演(村井)
7/22 神戸大学にて避難所ワークショップ開催(村井)
7/24 神戸学院大学・社会貢献学入門にて講義「阪神・淡路大震災20年の意義」(村井)
9/27 神戸YWCA-いもづるの会にて講演「3.11から1.17へ〜阪

神・淡路大震災20年を前にして〜」(村井)
10/20 神戸大学総合科目にて講義「ボランティアと社会貢献活動」(村井)
11/7 関西学院大学にて講義「不良ボランティア」(村井)
11/8 神戸大学厳夜祭にて講演(頼政)
11/15~16 関西NGO大学にて講演(村井・頼政)
11/17 足湯講習会(広島土砂災害コミュニティサポート・頼政)
11/19 福井大学医学部看護学科・災害看護学持論にて講義「復興支援ボランティア」(福井/村井)
11/20 福井大学・災害ボランティア論にて講義(福井/村井)
11/22 神戸松蔭女子学院大学にて講演「阪神・淡路大震災20年と東日本大震災4年」(村井)
11/24 神戸松蔭女子学院大学にて講義「阪神・淡路大震災とボランティア」(村井)
12/1 神戸松蔭女子学院大学にて講義「東日本大震災、広島水害、丹波水害を考える」(村井)
12/4 福井大学・ボランティア論にて講義(福井/村井)
12/6 防災士研修(門真/村井)
12/6 奈良市防災センターにて講演「災害時要援護者について」(奈良/村井)
12/7 足湯研修会(広島・安佐北区社協社会福祉協議会/頼政)
12/8 神戸松蔭女子学院大学にて講義「海外災害援助とボランティア」(村井)
12/11 名古屋大学総合防災論にて講義(名古屋/村井)
12/15 神戸松蔭女子学院大学にて講義「課題と展望」(村井)
12/18 防災士研修(大阪/村井)
12/25 福井大学・災害ボランティア論にて講義(福井/村井)
1/8 NHK「視点・論点」収録(東京/村井)
1/13 尼崎市第6回「じんけんスタディツアー」にて講演(村井)
1/17 NHK、読売TV「震災の真実」出演(村井)
1/17 NHK『あの日を胸に生きる』出演(頼政)
1/19 宝塚市立良元小学校にて講演(頼政)
1/20 桃山学院大学にて講義(大阪/村井)
2/5 福井大学・災害ボランティア論にて講義(福井/村井)
2/7 防災士研修(大阪/村井)
2/8 災害情報研究会・柳田邦男フォーラムにて講演(東京/村井)
2/12 防災士研修(天台宗・大津/村井)
2/14 第3回国連防災世界会議 市民協働と防災テーマ館1ヶ月前イベントにて報告(仙台/増島・頼政)
2/20 新宗連・第2回新生復興祈念集会にて講演「阪神・淡路大震災から東日本大震災まで」(村井)
2/21 出雲市平田地域協議会・防災講演「災害時における要援護者の支援について」(村井)
2/28 ひょうご心のケアセンター市民講座にて講義「ボランティアができる心のケア」(村井)
3/1 かしはら万葉ホールにて講演「災害時要配慮者が助かる道〜災害を減らすにはどうするか〜」(奈良/村井)
3/28 もとまちハートミュージアムワークショップ講師(増島・頼政)
3/29 尼崎・傾聴フォーラム足湯ボランティアについて講演(頼政)

<関係団体・グループとのネットワーク>

- ・しみん基金 KOBE/副理事長
- ・震災がつなぐ全国ネットワーク/団体会員・事業担当責任者
- ・人と防災未来センター/事業評価委員
- ・日朝兵庫友好の会/常任委員
- ・レスキューストックヤード/評議員
- ・CODE 海外災害援助市民センター/理事
- ・日本災害復興学会/理事
- ・内閣府防災ボランティア活動検討会/メンバー
- ・関西学院大学災害復興制度研究所/外部研究員
- ・東海地震に備えた災害ボランティアネットワーク委員会
- ・9条の会ひょうご
- ・KOBEピースiネット

(その他)

神戸大学非常勤講師/神戸学院大学非常勤講師/福井大学非常勤講師/神戸松陰女子学院大学非常勤講師/日本防災土機構/講師

4. 広報事業

会員間の連携と協働の充実を図るとともに、被災地内外の関係団体、支援者への情報発信を行った。リーフレットを刷新。

- (A) じゃりみち 4回発行(各約 800部)
- (B) HPは新たなデザインへと刷新し、情報発信を行っている。
- (C) FBなどのSNSも利用しながら情報発信を行っている。
- (D) メールニュースの配信

これまで通りメールニュースを配信する。

- ・ハンストニュース
- ・まけないぞうがつなぐ遠野物語
- ・その他関連ニュース

5. その他

- (A) 脱原発 24時間リレーハンガーストライキ

2012年度から継続して脱原発ハンガーストライキを「原発が停止するまでやり遂げる覚悟」持って今日まで続けてきた。また、ハンストに参加してくださっている方同士の交流の場を設けた。

5/28 ハンスト同窓会

- (B) 兵庫県からの受賞

- ・兵庫県功労者賞
- ・阪神・淡路大震災 20年感謝状受賞